



前線の下水道工事」「廃プラスチックの堆積に対する状況」「千葉市の農業問題」などについては、皆様が安心安全に暮らせる街づくりを目指し解決する方向で精一杯取り組んでいく所存でございます。

千葉市議会議員 三須 和夫

令和6年千葉市議会第2回定例会(6月14日)において一般質問をさせていただきましたのでご報告いたします

緑区の諸問題について

01 生実本納線高田インターチェンジのフルインター化について



〈答弁〉建設局長

現在、整備を行うための設計を進めるとともに、工事の実施に当たっては、4車線のうち2車線を工事エリアとし、残る2車線を対面通行とする大掛かりな交通規制となることから、規制方法について所轄警察署と協議を行っております。これらの設計や協議が整い次第、年内に工事着手する予定としております。



今年度から、茂原方面に向かう本線に接続するONランプの工事に着手するというご答弁を頂き、フルインター化の実現が間近に迫ってきているということを感じることができました。

また、生実本納線の車線を切り替えながら工事を行うため、大幅な交通規制が必要となってくるということでしたので、交通規制に当たっては、安全に実施していただくことは勿論のこと、工事の着手時期を見据えた早い段階から、広範囲にわたり広報していただきますよう要望いたします。



02 誉田町の廃プラスチック堆積について



〈答弁〉環境局長

堆積場に搬入した行為者に対し、適正処理についての指導を継続して行ったことにより、これまで計14回、合計で24立方メートルの廃プラスチックが撤去されております。また、行為者に当該プラスチックを売却した事業者に対し、本年3月に717立方メートルの廃プラスチックが搬出されたところです。

〈答弁〉環境局長

これまで行為者等により約741立方メートルの廃プラスチックが撤去さ

れましたが、今なお2,000立方メートルを超える廃プラスチックが残されており、堆積しているプラスチックの飛散により、近隣の幼稚園等への生活環境上の支障が出る恐れがあるため、飛散防止対策についても万全を期すよう併せて指導しております。

市が行為者等に対し、撤去に向け指導などの取り組みを進めていることは確認できましたが、大幅な改善につながっているとは言えない状況です。当局には、完全撤去に向けて、行為者や排出者に対し厳しく責任追及し、いち早く市民の安全安心な生活を取り戻せるようしっかりと取り組んでいただくことを要望いたします。

03 イノシシとキョン、アライグマ等の有害鳥獣対策について



〈答弁〉経済農政局長

わなによる「捕獲」や電気柵による「侵入防止」等の対策を行っており、年々わなの設置数を増やしておりますが、生息範囲が未だに広がりつつある可能性があり、さらなる対策強化が必要と考えております。

効果的な捕獲方法がまだ確立していませんが、電気柵の設置が、キョンによる食害も防ぐ効果があると聞いております。引き続き、被害状況や効果的な対策等について情報収集に努めて参ります。

〈答弁〉経済農政局長



イノシシについては、中央区や若葉区の出没最前線とその原因となる棲み処、隠れ場について、有害鳥獣の専門家、猟友会、市職員による現地調査を5月中旬から開始したところです。

現在、地域住民の方々と、捕獲活動に係る役割分担や箱わなの設置個所等について協議を重ねているところであり、8月下旬ごろから捕獲を開始する予定です。

イノシシの集中捕獲については、新規事業でノウハウも無い中、困難もあるかと思いますが、新たなチャレンジに期待しています。

本市の農業を衰退させないためにも、有害鳥獣対策は非常に重要なことですので、しっかりと対策を続けてください。